

## 議会改革調査特別委員会 行政視察報告書

視察日程 令和5年11月6日（月）～7日（火）

視察先 長崎県諫早市

参加者 委員長 谷内 開

委員 飛鷹 裕輔 吉原 敦

篠永 誠司 吉田 善三郎

### 【長崎県諫早市】視察項目：議会改革の取組について

人口133,212人 面積341.79平方キロメートル 議員定数26人（令和5年4月1日時点）

#### 1 議会報告会 市民と議会の「わがまちトーク」について

諫早市における議会報告会は、平成25年度から実施しており、開催方法や開催内容等の見直しを行い取り組んできた。

##### （1）開催方法等について

- ・年に1回以上開催
- ・開催時期及び開催箇所は、幹事会（各班の責任者で構成）でその都度決定

##### （2）取組について

第1回から第3回までは、毎年度400人を超える参加者がいたが参加者の固定化や高齢化が見られたため、若者や女性の参加者を増やすための検討を行った。

検討結果として、第4回からは各種団体、グループに議会報告会及び意見交換会を行う形式とした。

第4回から第6回までを実施した課題としては、学生やPTA、保育園保護者会、男女共同参画推進団体等を対象として開催したが、学生を対象とした報告会は、受験シーズンやインフルエンザ流行等を考慮した際、開催時期の調整が困難となる面や目的としている「議会活動に関して有する情報を市民に対して積極的に公表し、説明責任を十分に果たすもの」など議会基本条例に定められた本来の議会報告会の在り方をなしているのかなど、議員から様々な意見があった。

第7回以降の開催から従来の取組方法に戻し、全市民を対象に実施することにしたが、第8回及び第9回は、新型コロナウイルス感染症の影響により対象者を自治会長や自治会代表者等に制限して実施した。

第10回は、3常任委員会が、各政策提言に向けた調査研究活動のテーマに関する団体や市民等と意見交換を行う内容で実施した。

##### （3）市民を集客するための工夫について

- ・手話通訳者の配置
- ・保育サポーターの利用（事前に申請のあったものに対して）
- ・市議会Facebookの活用
- ・広報活動 ケーブルテレビ、FMラジオ、ポスター、チラシ、ホームページ等

#### (4) 検討課題について

集客に向けてのアプローチや議会報告会、意見交換会の内容に対しての工夫を行い、参加者の固定化及び高齢化、参加者が少ない会場（地区）に対する対策が必要である。

## 2 議会と住民がつながる「議会本棚（Side Books 共有本棚）」について

東京インタープレイ株式会社が提供する Side Books を活用することで、市議会が発信する情報を市民が容易に受け取れる仕組みを構築している。

内容としては、市議会ホームページに「議会本棚」のアクセスリンクを掲載しており、各定例会の議案書や関係資料、議会だより、活動内容の報告書等の様々な資料が本棚として分類されている。

### 【諫早市議会の議会本棚】

- ・ 定例会、臨時会に関する資料
- ・ 市議会だより
- ・ 議員名簿
- ・ 議会報告会に関する資料
- ・ 議会改革に関する資料
- ・ 議会関係例規
- ・ その他（議会からの報告資料）

## 3 政策提案に向けた取組について

諫早市議会基本条例に沿った「市議会の取組が行われているか」の検証の結果、「政策立案能力の向上」及び「政策提案の拡大」への取組が欠けているとの結論が出された。

このことについて、常任委員会で所管事務に係る行政課題等からテーマを設定し、調査研究・討議を行い、最終的には各常任委員会の報告を基に提案すべき事項を取りまとめ、市長への政策提案を目指している。

### まとめ

まず、諫早市議会の議会報告会での取組において、開催方法等の課題を抽出し検討を重ねることで、時代に即した方向転換を行い、改善を目指してきたことが見受けられた。特にターゲットを意識した取組については、若者や女性の参加を促すために学生及び関係団体を対象に開催することや、手話通訳者、保育サポーターの配置を行うことで参加しやすい環境整備に工夫をしている点について大変参考となる事例であった。

また、広報活動においても地元のFMラジオやケーブルテレビの活用、議員による街頭でのチラシ配布など手間を惜しまない様々な取組が印象的であり、議会報告会に対する議員の前向きな姿勢がうかがえた。

次に、「議会本棚」についてだが、諫早市議会では議案書をはじめとした定例会に関する資料や議会の活動内容に関するものとして、議会改革の取組、議会改革度ランキング、議会報告会における資料など項目は多岐にわたるが、本棚のように分類していることで過去

の資料まで誰でも簡単に閲覧できるように公開している。このシステムのもう1つの利点として、発信者である市議会においてもSide Booksを活用することで、膨大な情報を簡単に発信できることである。

市議会と市民との情報共有をさらに促進させるために、本市議会においても導入を検討する価値があるものだと考える。

最後に、諫早市議会の現在の議会改革の取組であるが、諫早市議会は早稲田大学マニフェスト研究所が行っている議会改革度ランキング調査に参加しており、平成27年頃から現在に至るまで、常に上位にランクインしている。特に機能強化の評価が高く、現在は「政策立案能力の向上」及び「政策提案の拡大」における取組として、政策提案に向けて常任委員会の所管事務に係る行政課題等からテーマを設定し、調査研究、討議等を行っているということであった。こうした取組を通して、議会改革についての検証を熱心に行い、改革に向けて取り組んでいる効果が議会改革度ランキングに現れているものだと考える。

諫早市議会の取組・事例から本市議会においても導入できる可能性があるものから検討を行い、議会改革に邁進していきたい。